

ユーエフティ配合カプセル T100
 ユーエフティ E 配合顆粒 T100
 ユーエフティ E 配合顆粒 T150
 ユーエフティ E 配合顆粒 T200

【この薬は？】

販売名	ユーエフティ配合カプセル T100 UFT Combination Capsule T100	ユーエフティ E 配合顆粒 T100 UFT E Combination Granule T100	ユーエフティ E 配合顆粒 T150 UFT E Combination Granule T150	ユーエフティ E 配合顆粒 T200 UFT E Combination Granule T200
一般名	テガフル・ウラシル Tegafur・Uracil			
含有量	1カプセル中 テガフル 100mg ウラシル 224mg	1包(0.5g)中 テガフル 100mg ウラシル 224mg	1包(0.75g)中 テガフル 150mg ウラシル 336mg	1包(1.0g)中 テガフル 200mg ウラシル 448mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗がん剤のなかの代謝拮抗剤（フッ化ピリミジン系）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、2種類の成分を配合することにより効率的にがん細胞（腫瘍）の増殖を抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

テガフル・ウラシル通常療法

次の疾患の自覚的ならびに他覚的症状の寛解

頭頸部癌、胃癌、結腸・直腸癌、肝臓癌、胆のう・胆管癌、膵臓癌、肺癌、乳癌、膀胱癌、前立腺癌、子宮頸癌

ホリナート・テガフル・ウラシル療法（ホリナートカルシウムと併用）

結腸・直腸癌

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬は、劇症肝炎などの重篤な肝障害（食欲不振、体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、意識の低下）がおこることがあるので、早期発見のため、定期的（特に飲み始めの2ヵ月間は1ヵ月に1回以上）に肝機能検査が行われます。食欲不振、体がだるい、皮膚や白目が黄色くなるといった症状があらわれた場合は、ただちに中止し受診してください。
- ホリナート・テガフル・ウラシル療法では、重篤な下痢がおこり致命的な経過をたどることがあります。激しい腹痛、下痢などの症状があらわれた場合には、ただちに中止し、受診してください。
- ホリナート・テガフル・ウラシル療法では、劇症肝炎など重篤な肝障害（食欲不振、体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、意識の低下）、重篤な骨髄抑制（発熱、体がだるい、出血しやすい）がおこり、致命的な経過をたどることがあるので、早期発見のため、定期的（少なくとも1クール*に1回以上、特に飲み始めてから2クールは各クールを始める前および当該クールの間に1回以上）に肝機能検査、血液検査が行われます。また、このような症状があらわれた場合には、ただちに中止し、受診してください。
*「クール」については使用量および回数 of 項を参照してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・重篤な骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）がある人
 - ・重篤な下痢がある人
 - ・重篤な感染症にかかっている人
 - ・過去にユーエフティに含まれる成分で重篤な過敏な反応を経験したことがある人
 - ・テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（ティーエスワン）を使用している人および使用を中止して7日以内の人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）がある人
 - ・肝臓に障害がある人、または過去に肝臓に障害があった人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・感染症にかかっている人
 - ・心臓に障害がある人、または過去に心臓に障害があった人
 - ・消化管潰瘍（かいよう）または消化管出血がある人
 - ・耐糖能異常のある人

- ・水痘（みずぼうそう）にかかっている人
- ・高齢の人
- ・他の抗がん剤による治療、放射線治療を受けている人
- ・前に抗がん剤による治療を受けていた人
- ・小児

○この薬には併用してはいけない薬 [テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（ティーエスワン）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

〔テガフル・ウラシル通常療法の場合〕

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

販売名	ユーエフティ配合カプセル T100	ユーエフティ E 配合顆粒 T100 (0.5g 分包)	ユーエフティ E 配合顆粒 T150 (0.75g 分包)	ユーエフティ E 配合顆粒 T200 (1.0g 分包)
一日量	3～6 カプセル ただし、子宮頸癌については 6カプセル	1.5～3.0g ただし、子宮頸癌については 3.0g		
飲む回数	1 日量を 2 回～3 回に分けて飲みます			

〔ホリナート・テガフル・ウラシル療法の場合〕

飲む量は、あなたの体表面積(身長と体重から計算)や、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

販売名	ユーエフティ配合カプセル T100	ユーエフティ E 配合顆粒 T100 (0.5g 分包)	ユーエフティ E 配合顆粒 T150 (0.75g 分包)	ユーエフティ E 配合顆粒 T200 (1.0g 分包)
一日量	3～6 カプセル	1.5～3.0g		
飲む回数	1 日量を 1 日 3 回（約 8 時間ごとに）に分けて飲みます			

- ・通常 28 日間連続で飲み、その後 7 日間休みます。これを 1 クールとして繰り返します。
- ・必ずホリナートカルシウムと同時に飲んでください。
- ・食事の前後 1 時間を避けて飲んでください。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

ユーエフティ E 配合顆粒はかまずに飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気づいた場合には、その薬は飲まずに 1 回とばして、次の決められた

時間に次の薬を飲んでください。

ホリナート・テガフル・ウラシル療法で、ホリナートカルシウムだけを飲み忘れた場合は、飲み忘れたホリナートカルシウムは1回とぼして、次の決められた時間に、ユーエフティとホリナートカルシウムを1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・骨髄抑制などの重篤な副作用がおこることがあるので、定期的（テガフル・ウラシル通常療法では、特に飲み始めてから2ヵ月間は1ヵ月に1回以上）に血液、肝臓、腎臓などの検査が行われますので受診日を守ってください。
- ・体の抵抗力が弱まり、かぜなどの感染症にかかりやすくなることがあります。人ごみを避けたり、外出後は手洗いやうがいなどをしたり、感染症にかからないように気をつけてください。
- ・出血しやすくなることがあります。鼻血、歯ぐきの出血、あおあざなどの症状に気をつけてください。
- ・ホリナート・テガフル・ウラシル療法では、重篤な下痢・腸炎などがおこり死に至ることがあるので、激しい腹痛、下痢等の症状があらわれたら、ただちに受診してください。
- ・ホリナート・テガフル・ウラシル療法では、劇症肝炎、重篤な骨髄抑制などの副作用がおこることがあります。使用中は定期的（少なくとも1クールに1回以上、特に服用開始から2クールは、各クール開始前および当該クール中に1回以上）に肝臓、血液の検査が行われますので受診日を守ってください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつぜいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
重篤な肝障害 じゅうとくなかんしょうがい	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒）、意識の低下

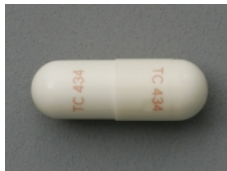



重大な副作用	主な自覚症状
肝硬変 かんこうへん	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒）、意識の低下
脱水症状 だっすいしょうじょう	喉が渇く、体重が減る、立ちくらみ、めまい、疲れやすい、体に力が入らない、手足がつる
重篤な腸炎（出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎） じゅうとくなちょうえん（しゅつけつせいちょうえん、きょけつせいちょうえん、えしせいちょうえん）	発熱、お腹が張る、激しい腹痛、下痢、吐き気、嘔吐、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒）、血が混ざった下痢、ふらつき、息切れ、突然の激しい腹痛、冷汗が出る、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
白質脳症などを含む精神神経障害 はくしつのはくしょうなどをふくむせいしんしんけいしょうがい	歩行時のふらつき、口のもつれ、動作が鈍くなる、意識の低下、幻覚、妄想、興奮、抑うつ
狭心症 きょうしんしょう	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、あごの痛み、左腕の痛み
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る汗
不整脈（心室頻拍などを含む） ふせいみやく（しんしつひんぱくなどをふくむ）	めまい、動悸、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ、胸の不快感
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重の増加
嗅覚脱失 きゅうかくだつしつ	臭いが弱い、もしくは分からない
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
重篤な口内炎 じゅうとくなこうないえん	口内の粘膜や舌に白い膜ができ、スムーズでなくなる、耐えがたいほどの口内の痛み、物が飲み込みにくい、口内の傷・腫れ、食欲不振
消化管潰瘍 しょうかかんかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
消化管出血 しょうかかんしゅつけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る
中毒性表皮壊死融解症(TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこう ぐん(スティーブンス-ジョン ソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の 斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが 多発する

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、出血が止まりにくい、体がだるい、体がかゆくなる、急激に体重が増える、体重が減る、疲れやすい、体に力が入らない、ふらつき、冷汗が出る、動作が鈍くなる、むくみ、体重の増加
頭部	頭が重い、めまい、意識の低下、立ちくらみ、顔面蒼白、妄想、興奮、抑うつ、気を失う
顔面	鼻血、あごの痛み、臭いが弱い、もしくは分からない
眼	白目が黄色くなる、幻覚、目の充血やただれ
口や喉	喉の痛み、歯ぐきの出血、吐き気、血を吐く、喉が渇く、嘔吐、口のもつれ、咳、口内の粘膜や舌に白い膜ができ、スムーズでなくなる、耐えがたいほどの口内の痛み、物が飲み込みにくい、口内の傷・腫れ、吐いた物に血が混じる(赤色～茶褐色ときに黒色)、唇や口内のただれ
胸部	動悸、息切れ、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、息苦しい、胸の不快感
腹部	食欲不振、お腹が張る、激しい腹痛、突然の激しい腹痛、激しい上腹部の痛み、腹痛、胃がむかむかする
背中	背中での痛み
手・足	手足がつる、手足が冷たくなる、歩行時のふらつき、左腕の痛み、脈が遅くなる、脈がとぶ
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる、お腹にあざができる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
便	便に血が混じる(鮮紅色～暗赤色または黒)、下痢、血が混ざった下痢、黒い便が出る
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる

【この薬の形は？】

販売名	ユーエフティ 配合カプセル T100	ユーエフティ E 配合顆粒 T100	ユーエフティ E 配合顆粒 T150	ユーエフティ E 配合顆粒 T200
形状	不透明硬カプセル剤	顆粒剤		
				
外形	全長：17.6mm 長径：6.3mm 短径：6.0mm			
色	白色	白～黄白色		
識別コード	TC434	TC437	TC438	TC439

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ユーエフティ配合 カプセル T100	ユーエフティ E 配合顆粒 T100	ユーエフティ E 配合顆粒 T150	ユーエフティ E 配合顆粒 T200
有効成分	テガフル・ウラシル			
添加物	低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ラウリル硫酸ナトリウム、ゼラチン、酸化チタン	結晶セルロース、メタクリル酸コポリマーLD、ポリソルベート 80、ラウリル硫酸ナトリウム、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルスターチ、タルク、ステアリン酸ポリオキシシル 40、マクロゴール 6000、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。余っ

た薬を自分の判断で使用してはいけません。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大鵬薬品工業株式会社

(<https://www.taiho.co.jp/>)

医薬品情報課

電話番号：0120-20-4527

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)